

市政のそば聞きたか!!

一般質問

9月定例会で13人が古川市政を



掲載している内容は、9月3日から9月5日に行った市政一般質問の要旨です。詳しい内容については会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局、情報公開室のほか市内各公民館や図書館でもご覧いただけます。

市議会ホームページでは、会議録の閲覧や検索、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。

島原市議会ホームページ <http://www.city.shimabara.lg.jp/gikai/>

【A】 島原猟友会に捕獲を委託しており、二十五年度はイノシシを五百九十四頭、カラスを九百七十五羽捕獲している。イノシシ対策としては二十五年度までに約百五十ヘクタールの農地に、約六十七キロメートルのワイヤーメッシュ柵を設置している。このような対策の効果もあり、被害額は二十三年度の約四百五十万円から二十五年度は約三百十万円に減少している。

【Q】 防止対策事業の実績と評価についてどうか。

【A】 野菜、芋類、果樹等の農作物被害が大きく、イノシシによる被害額は二十三年度で約二百二十万円、二十四年度は約百八十万円である。カラス、ヒヨドリによる被害額は二十三年度が約二百十万円、二十四年度が約二百二十万円、二十五年度が約百十万円である。また近年はタヌキやアナグマによるスイートコーンの被害が発生しており、二十五年度は約二十万円の被害が出ている。

▼鳥獣被害防止対策について



チームI
馬渡 光春 議員

【Q】 いじめの調査や認知件数の状況は。 【A】 滋賀県大津市でのいじめ事件を受け、市内全小・中学生と保護者を対象に年三回のいじめアンケートを実施し、未然防止と早期発見、早期対応に努めている。二十五年度の調査における認知件数は小学校十五件、中学校六件であった。今後もしじめ根絶に向けて積極的に取り組んでいく。

【Q】 体罰や暴力の発生事案はあるのか。 【A】 昨年度、実施された調査では市内小・中学校で体罰や対教師暴力、器物破損等の報告はあっていない。生徒間の暴力は三件あったが、適切に指導がなされている。

【Q】 要因としてどのようなことが考えられるのか。 【A】 情緒的な不安や気力が充実しない、親子や友人関係の悩みなど多岐にわたっている。

【Q】 市内小・中学校の不登校の状況は。 【A】 二十五年度の調査結果では、小学校で七名、中学校で二十五名となっている。年度によって異なるが小・中合わせて毎年三十名程度で推移している。

▼学校教育について

【Q】 今後の課題についてはどうか。 【A】 全国的に捕獲従事者の高齢化や狩猟免許所持者の減少が危惧されている。